

母校創立70周年迫る

本高同窓会報

発行

本庄高校同窓会

会長 岡 祐 孝

事務所 本庄市銀座3-5-8
岡 病 院 内

ごあいさつ

同窓会長 岡 祐 孝



親愛なる本高同窓会の皆様
御健勝にて御活躍のこととお
慶び申し上げます。伝統ある
母校におきましては、平成四
年度に、創立七十周年を迎え
ます。この間本会会員数も二
万四千有余名を数える大世帯
となりました。そして母校で
は、地域の要望に應えて、優
秀な人材を養成するためPT
A・後援会・同窓会一体となっ
て学習環境・整備充実のため
鋭意努力して参りました。こ
こに七十周年を迎えるにあた
りこの機会に、新しい時代に
対応する教育を目指し、豊か
な心を持つ生徒を育成する高
等学校として、さらに地域の

信頼にこたえる魅力ある学校
とするため、同窓会では県教
育委員会のご要請も勘案して
左記要項による記念事業を計
画しました。本年六月二十九
日同窓会総会に本案を上程し
出席会員皆様のご賛同をえて
承認可決されました。時節柄
出費の多い時、誠に恐縮でご
さいますが、会員皆様の深い
ご理解とご協力をいただき、
母校発展のために、この事業
を達成したいと存じますので
何卒よろしくお願い申し上げ
ます。

記 七十周年記念事業
一、事業内容 ①合宿棟の整
備拡充 ②七十周年記念誌
発行 ③七十周年記念式典
二、募金目標額 八千万円
一口 一万円
三、募金期間 平成三年十月
一日より平成四年五月三十
一日まで

平成三年度 総会開かる

平成三年度通常総会が六月
二十九日(土)午後二時より埼玉
ランドホテル本庄に於て開
催されましたが、今回は母校
創立七十周年を明年に控え、

その記念事業を如何にすべき
かということが、緊急且つ最
も重大な議題でありました。
母校より学校長並びにPTA
後援会の役員の方々もご列席
下され、長年に亘る強い要望
事項でありました食堂関連施
設の整備拡充事業について縷
々説明を頂いた結果、満場



平成三年十月二十五日

食堂設備増設起工式

既に、十月一日より早々と
寄付金を納入下さった会員の
皆様には会報を通じ衷心より
厚く御礼申し上げます。結び

に、母校に貢献する皆様のご
芳志を感謝し、併せて、ご多
幸を祈念致します。

☆ ☆ ☆

一致にて同窓会におきまして
もこの事業の完遂に向けて、
全面的にご協力申し上げるこ
ととなりました。

それに伴いまして、会員の
皆様には時節柄何かとご出費
の多いこととは思いますが、
後輩のため、又母校施設の一
段の充実のために暖かいご協
力をこの紙面をお借りして切
にお願い申し上げます。

すでに趣意書並びに振込用
紙もお手元にお届きのことと
思います。毎日沢山のお振込
を頂き大変感激致しておりま
すが、まだ緒についたばかり
で目標額達成のためにはこの
会報をお読み頂いた会員全員
のご支援がなければとても達
成できるものではありません。
どうかこの苦衷をお汲み取
り下さいまして、まだのお方は
早速お振込下さいませよう重
ねてお願い申し上げます。い
であります。

■事業計画■

3年5月 平成3年度版会員

名簿発刊

6月(1)会報14号発行

(2)通常総会開催

9月 中高連絡会の開催

12月 会報15号発行

4年2月 支部長会議及び新

年会の開催

3月 新入会式の開催

本部役員会及び事務局会を
毎月開催。

柏陵消息

創立70周年記念事業に伴う

合宿棟施設設備の拡充改善について

校長 中里邦夫



本高は大正11年4月に生徒定員500名にて開校しました。平成4年度には創立70周年をむかえます。そのために、同窓会を中心にして、準備にとりかかっています。内容は式典、記念誌発行、合宿棟の施設・設備の拡充・改善です。食堂、シャワー室、風呂等を増改築しなければなりません。現在、生徒は部活動等の校内合宿の際、外食をするか、業者が配膳してくれま

す。シャワーは殆んど使えず、風呂は校外に行きます。平成3年度の生徒数は全日制135名、うち男子605名、女子700名で、定時制は126名、男子100名、女子26名です。全日制の生徒は98%が進学です。四大、短大、専門学校に希望しますが、初志を貫徹する者は少ないようです。よい生徒

心遣いが、青年の心を大きくするものなのです。特にバランスのとれた食事は家庭でも学校でも大切であります。心から先生や友・親と話し合える青年を育てるために、同窓会が中心となって、合宿棟の整備、改善のために立ちあがっていただきました。本高のために募金をしてください。勿論PTA、後援会、教職員一同感謝の念で一杯であります。募金目標額に達するようよろしくお願いいたします。

部活動の現況

同窓会員にとつては、母校の進学状況や部活動の活躍に大きな関心があると思います。今回は本校の部活動についての最近の現況を報告します。運動部は、弓道、剣道、柔道、サッカー、硬式テニス、軟式テニス、水泳、野球、体操、ソフト、卓球、陸上競技、バレー男子、バレー女子、バスケット男子、バスケット女子、登山の16部。文化部は、写真、新聞、図書、放送演劇、美術、書道、吹奏楽、英語、社研、考古学、化学、生物、地学、電気、茶

サッカー部

選手全員が一九九一年七月の地区予選では、四連戦を全勝で終了しベスト16に入り、代表権を獲得しました。しかも、県の第4シードになりました。選手・生徒は勿論多くの保護者の方々、またOBやOGの方々の熱心なご協力の賜あることはいまでもありません。二次予選選出に向けて山梨、千葉に遠征し全国レベルの高校と試合をしチームの強化をはかりました。残念ながら二次予選では敗退してしまいました。しかし、サッカー王国埼玉といわれる中に生まれ育った生徒にとつて、また自分自身にとつても良い勉強になりました。部員一人ひとりに感謝すると同時に、来年度は今年以上の成績が上げられるように練習をして行きたいと思っています。(顧問 小林敏志)

七十周年記念誌

編集状況について

今日まですでに十三回委員会を開催し、主題を「二十一世紀への飛翔」とし、原稿依頼者の人選と第一回委頼状の発送作業を完了致しました。又、五つの座談会のテーマ及び人選もほぼ決まり、十二月一日にはその第一回目として諸設備が一応整った時期に在学した高校十二回より二十二年卒の会員十名が会議室に集まり、①学んだ頃の母校の状況、②母校で学んだことを実社会でどう生かしてきたか、③母校への提言などについて和やかな中にも活発な意見発表が行なわれ、時の経つのも忘れさせるような二時間を待つことが出来た。

吹奏楽部

平成3年8月3日(土)
(上尾福祉会館)
第42回埼玉県吹奏楽コンクール上尾大会、高校2部(中編成)第1日目に出場。
シエルドン作曲の「ダンス

・セレスティアル」をリズムカルに演奏し、見事銀賞を獲得した。

一学期から放課後の練習は勿論、早期練習も欠かさずやった成果だと思います。

(顧問 中原根岸昌、中島豊)

〇 〇 〇

(文責 飯島輝雄)

終身会費納入についてお願い

親愛なる同窓生の皆様、私達は母校への寄与貢献と会員相互の親睦向上を念願に努力しておりますが主たる基礎財源は終身会費(老万円)を主としています。

未納の方の御協力をお願い申し上げます。次第です。終身会費ご納入の際には左記口座にご入金下さい。郵便局振込口座番号 東京二一八七〇二〇

本高同窓会役員一同

終身会費納入者芳名 (敬称略)

平成3.4.1.3.11.30

河野英夫	中村雅子	中村敦	高橋郁子	高根和子	岡村豊
榎井寿行	広沢栄治	久保田尚美	石川智美	岡村知子	中沢さき子
分須尚	福島史崇	蓮舎経史	長嶋敦	阿佐美浩一	掛川雅代
八木良世	細野勉	小林康由	高野和好	塚越雄一郎	柳沢宏美
福地匡	塩原崇	島村栄一	関根恵二	高橋優子	新井智恵
武井泰明	福島昌彦	田村由美子	坂入匡昭	玉虫勉	藤田順子
深田康雄	大塚隆子	根岸光明	矢口光浩	田島久子	鈴木正俊
松本幸子	本田正吏	加藤明彦	神田幸夫	根岸和則	小林伊美子
中林美恵子	細村夏美	倭木徳子	今泉淳子	内田真次	大久保健治
吉村健	根岸知樹	鶴田晴美	井上弘子	大谷早苗	福地邦雄
真下文康	笠原哲郎	吉沢博光	齊藤宏	米持美子	飯塚雅子
洪沢貴彦	中島泰之	加藤幸夫	吉田英一	吉田美子	井田美奈子
小林貴志	仲沢彰子	秋山恵美子	清水英恵	常木茂成	川松美奈子
笹原一昌	福島潤	高橋恵	佐藤工祐	森田昌稔	樋口弘子
新井淳子	越智直哉	新井清司	新井琴枝	平賀純世	川田猛
滝沢博士	渋谷晃	齊藤大天	西村和夫	齊藤昇	中井正樹
田島和夫	中川早苗	塩田正之	浜野良一	松本貴夫	門倉征治
高杯津良	富田衛	織茂孝典	早本幸江	杉本富子	
小林正洋	木戸裕盛	横村隆史			

創立70周年記念事業

寄付者芳名

平成3.11.20現在 (敬称略)

(一万円)

堀川明	久間木聡子	富沢峰雄	栗原龍男	小日向淑子	秋山洋二
堀原礼次郎	小林優子	早野敏子	小林千恵	須永満	清水美代子
大久保美津枝	齊藤義郎	高柳伸男	宮岡花子	関延昌夫	小此木千代子
吉田久	竹本宏	日和田直志	西村和夫	中沢智行	岡崎丕
齊藤房治	田中喜一郎	大塚武平	須賀通夫	塚本たき子	吉野博子
福島昌彦	水野幸一	瀬岡義信	吉澤千代子	常木正明	渋谷正芳
寺島博	結城和雄	佐藤登美江	塩原修平	金子鍊	萩原重平
富田英夫	内田哲雄	石川春子	金井英雄	五十嵐新三	村木マツ子
増田順行	島野香代子	塩原英雄	荻野良三	横尾デン	横尾直英
小林政子	坂本正彰	石川恭之	石川晴美	岡村和幸	山口和加子
笠原利江	木村博子	岡部栄子	百田師恵	谷矢敏夫	須永キヨ子
富沢寿夫	市川和夫	中島トウ	古川愛	信澤博至	小林伸吉
中井広道	木暮那美子	江田廣典	立石都	篠田みち江	久保敦義
齋藤恒夫	春山麗二	伊古孝次	山口利通	中島十一	小野里信孝
松本貴夫	島村弘	鈴木光雄	伊藤好一	小池保次	堀岡由紀子
加藤真由美	肥沼龍之介	菊池一幸	持田庄太郎	斎藤昇	斎藤寛

早野美和男	関根義夫	町田顯	田端義雄	江尻シナ	高木芳郎
見目晴哉	種村達哉	戸塚孝英	松本たき子	内田ハヤ子	大屋崇
森田勉	高田良	村川泰之	春山賢介	外ノ池善一	岡村喜与子
及川勝義	高橋祐	柴崎信	柴崎國威	平岡萬平	井上啓一郎
新井保一	坂本博	為貝秀彦	丸山伊明	永尾光一	石松康幸
窪田章子	大滝将史	田島達也	庄野嘉子	沼上文明	深町和男
坂本修一	小島暉子	秋谷美恵子	福島卓	喜多村勉	荒木富佐子
門倉澄子	松原和三	富田妙孝	志塚武三	金井喜章	宮本和彦
田嶋一雄	伊久間邦夫	白鳥陽子	三村隆	増田勇司	大沢幸雄
金井克規	松原俊	戸塚まき	天田久子	染野孝吉	三澤浩
三沢いく代	千村恵美	飯塚直子	橋本顯	柴田トミ	大谷幸雄
山田哲也	武政実	奈良和則	飯野由佳子	飯野利衛	三好恭子
田端弥太郎	齊藤俊夫	黒沢公夫	上山茂	小暮三三	鈴木幹安
井上一	田中茂夫	中村茂	箕輪純子	大野弘	小林喜一郎
五十嵐英治	武正義雄	星野陽子	星野正幸	岩片和子	掛川雅代
小島和枝	高柳康治	小久保光子	小久保真	茂木靖子	杉原シマ
黒沢信男	柴崎亮	鳥羽昭二	荻弘子	堀内卯一	福島喜久司

芝崎和子	高橋英雄	塩原喜代子	小林由美子	根岸精一	引間和子
畠徳治	峰須和枝	福島史崇	堤栄子	阪本宜康	村田敬次郎
石井俊彦	松崎健二	山口恵子	大島政彦	小林マサ	亀田昌子
渋谷俊彦	茂木肇	鈴木正人	徳山成規	福島広	高橋周兵衛
清水オキ	井上武	桑原信一	島野晃雄	吉武英夫	飯塚春江
望月正昭	戸谷純之助	真島千寿子	小能信子	根岸武一	木村庄子
岩瀬正治	豊田登美子	本間喜由子	飯島真司	内田とみ	野口喜蔵
武藤瑞璃子	持田功子	牛久保孝一	小野俊治	横堀香代子	笹井均
飯島岩雄	毛文義	金田正夫	鈴木健二	高野保夫	坂本正義
峯村辰雄	戸谷昭子	萩原陽造	根岸英志	岩田孝行	橋本浩行
石川陽二郎	田中美智子	奈雲亀雄	森弘美	鴨田守	渡辺光代
田中友理	下山武雄	常木茂司	常木茂成	荻野恵子	吉田明
星慶岳	蓮舎経史	飯塚隆	塩原雄二	松崎武次	持田春男
境野進	戸矢信男	石井康則	田辺守司	鬼沢親仁男	鬼沢嘉代
山本歌代子	山本陽子	玉野勲	石河政子	高柳ミチ子	二又川頼子
市川篤史	田島茂二	古沢行雄	島崎孝子	持田和正	松前俊一
笹原一昌	坂野和子	伊平保夫	藤井健之	早本幸江	金井泉
松本章	鯨井繁一	小野節子	高橋隆治	細井精一郎	根岸正彦
古川久江	宮城守雄	森節子	内田保夫	宮下安子	目黒輝久
栗原勉	中竹次	橋爪与一	丸岡俊夫	日向保次	福島恵美子

中林慶司	西尾美代子	西尾英幸	高山清子	戸谷収二	石井秀樹
萩原路恵	丸山修	春日孝夫	田島正治	門倉征治	梁瀬和晃
杉本晚	齊藤美智子	塚越容子	堀口セキ	岡清典	奈雲百恵
堀込アサ	大道寺洋美	田村宏	阪上恵保巳	岩田嘉幸	立石都栄
高島稔	関口謙一	堀込茂正	金井次夫	矢内伸幸	三沢豊
山本昌英	塩原和男				

池田由美子	中村栄寿	野沢健次	小松郁子	高橋茂	倉本辰次
大角太一	中村銀一郎	真下盈子	宮岡節子	今井ケイ	田所静江
坂本潔	春山茂之	黒沢一徳	庄讓治	門倉義久	江原広治
萩原みよ子	齊藤肇	山田良治	宮崎郁吉	猪野香子	清水恵次
浜岡盛三	亀田愛子	瀬山博	馬場勇二	豊岡智堂	鳥塚重義
今井洋	金井盛治	須藤とみ江	中谷幸次郎	岡平鶴五郎	高山晃
分須尚	根岸桂一郎	国谷敏朗			

中山昭子	権田広司	野口治邦	松原文司	古関勲	三沢潤
形山将行	塚越至信	金子勝	飯塚栄	金井トミ	坂上正巳

武正実	飯島良	朱泳植	金井俊夫	金井博	中原誠一
岡一孝					

野口久吉	飯島清	戸塚泰和	竹並栄一郎	戸谷全克	
------	-----	------	-------	------	--

(百万円)	岡祐孝				
-------	-----	--	--	--	--